

2013 年度第 1 回 L・ラーニング学習支援システム研究会分科会記録

-
- 日 時：平成 25 年 6 月 10 日（月）
場 所：東京文化会館 第一応接室 13：00～17：00
参 加：小田切夕子（麻布大学）、金子和代（早稲田大学）、高橋泰行（大正大学・記録）
- 配布資料：1. 本日のタイムテーブル
2. 2013 年度研究分科会活動計画書
3. 2013 年度 L ラーニング学習支援システム研究分科会予算計画書
4. 研究分科会会計制度の是正について（私案）
-

事務連絡

1. 代表者会議の報告
 - ・報告大会の日程が 2013 年 12 月 12 日（木）に決定。場所については未定。
 - ・研究分科会会計制度の是正について（私案）が藤倉氏（分類研究分科会代表）より提出された旨、小田切氏より報告がなされた。これは、分科会の会計を会期単位（2 年）で清算し、会期末には残金を「研究部返納金」（仮称）として研究部に返還する新たな会計制度（案）である。
2. 今期の研究計画について
 - ・2013 年度の当研究分科会活動計画書と予算計画書について小田切氏より説明があった。

議 題

1. **FB** 及び **Twitter** の運用方法

FB および **Twitter** については、一定の研究成果が得られたことを踏まえ、今後はワークグループ内での継続研究とする。

また **Twitter** については、ある程度匿名性が保たれ情報の伝達に適しているので、継続して運用を行う。
2. 報告大会について

FB・**Twitter** の運用方法についてはその評価にとどめ、そのほかの **SNS** を使ったコミュニティづくりの可能性について研究することとなった。

Tumblr や **Pinterest** といった新たな **SNS** がアメリカを中心に広まっているが、まだ日本での浸透度はそれほど高くない。そこで、現在、日本で爆発的にはやっ

ている「LINE」について各自で研究し、LINEの有効性を考える。
LINEを含めたSNSが、コミュニケーションツールとして、何がすぐれているのか、大学図書館員のためのコミュニティづくりと絡めて研究する。
夏期集中研究までに各自でLINEについての基礎知識を固め、研究会ではLINEを実践し評価を行うこととなった。
また、LINE実践に際しては、一定のルールを設定する必要がある、との意見も出された。

3. 夏期集中研究（合宿）について

日 時：8月8日(木)（宿泊は伴わない）

場 所：未定

内 容：報告大会に向けて

LINEの実践と評価

4. その他

特になし

以 上